

2022年度 保健体育科シラバス

教科名		保健体育		教科書等	なし
科目名		体育	教材等		なし
単位数		2単位		履修学年区分	2学年
履修区分		必修修科目			
目 標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
観点の趣旨		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	行動の観察	◎	◎	○	○
	実技試験	○	○	◎	
	定期考査等				
	観点の重み(%)	30%	20%	30%	20%
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい	備考・変更点
4		体づくり運動 体育理論		体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	
5	定期 I	長距離走 体育理論		記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。)豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	
6		球技 I 男子:ソフトボール 女子:バレーボール 体育理論		勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	
7	定期 II				
9					

10	定期Ⅲ	ダンス	<p>感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。</p> <p>ダンスの学習に主体的に取り組み、互いに共感し高め合うこと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすこと、合意形成に貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>
11	定期Ⅳ	<p>球技Ⅱ 男子：サッカー 女子：バスケットボール</p>	<p>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>
12			
1			
2	定期Ⅴ		
3		選択	<p>心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る。</p> <p>各種目に意欲的に取り組み、チーム編成やルール作りに工夫して取り組めるようにする。</p>

2022年度 保健体育科シラバス

教科名		保健体育		教科書等	現代高等保健体育(大修館)
科目名		保健	教材等		大修館書店 現代高等保健体育ノート
単位数		1単位	履修学年区分		2学年
履修区分					
目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解	
観点の趣旨		生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。	
評価方法	行動の観察	◎	◎		
	実技試験		○	○	
	定期考査等		○	◎	
	観点の重み(%)	30%	30%	40%	
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		思春期と健康 性意識と性行動の選択	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があること。		
5	定期 I	結婚生活と健康 妊娠・出産と健康			
6		家族計画と・人工妊娠中絶 加齢と健康			
7	定期 II	高齢者のための社会的とりくみ			
9		医療制度と保健サービスの活用 医療制度と医療費	生涯を通じて健康を保持増進するためには、我が国の保健・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。		
10	定期 III	医療機関と医療サービスの活用 大気汚染と健康	社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。		
11	定期 IV	水質汚濁と健康 土壌汚染と健康	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。このため、様々な対策がとられていること。		
12		健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き			

1		<p>食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保険と私たち</p>	<p>社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。 学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていること。また、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていること。</p>	
2	<p>定期 V</p>	<p>働くことと健康 労働災害・職業病と健康</p>	<p>社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。</p>	
3		<p>健康的な職業生活</p>	<p>職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことが必要であること。</p>	

2022年度 芸術科シラバス

教科名		芸術		教科書等	MOUSA①(教育芸術社)
科目名		音楽 I	教材等		
単位数		1	履修学年区分		第2学年(文系)
履修区分		選択履修			
目標		音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
評価の観点		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨		音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	作品構想カード	○	○	○	○
	作品		◎	◎	
	鑑賞カード				◎
	観点の重み(%)	30	25	25	20
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		○楽しいキーボードアンサンブル(器楽) ・オーラ・リー ・木星 ・いつも何度でも	○器楽 ・ペアを組み気持ちを揃えながら、ともに一つの演奏を作り上げる喜びを味わい、感性を働かせ、音色や強弱を工夫して表現する。【創意工夫】 ・簡易伴奏機能を用い、コード(和音進行)の基礎を知覚しながら、旋律や和声の美しさを味わって演奏する。【技能】 ○歌唱 ・ドイツ語の特徴を理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付け、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫する。【技能】【創意工夫】	各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。	
5		・見上げてごらん夜の星を ・川の流れのように 他 ○ドイツリートを歌おう(歌唱) ～イッヒリーベディツヒ			
6					
7		○三線の響き②(器楽・歌唱・音楽史) ～沖縄修学旅行に想いを馳せる～ ・安里屋ユンタ ・涙そうそう ・海の声 他	○器楽 ・三線に触れることを通して、琉球音階を知覚し、その独特な雰囲気を感じて弾き歌いをする。【技能】【創意工夫】 ○歌唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解し、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、自己のイメージをもって歌唱表現を工夫する。【技能】【創意工夫】 ○音楽史 ・琉球音楽の歴史や成り立ち、大陸(中国)との関わりについて主体的に学ぶ。【関心・意欲・態度】	各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。	
9					
10		○楽しいギター・アンサンブル(器楽) ・木星 ・翼をください ・いつも何度でも 他 ○ギター協奏曲を鑑賞しよう(鑑賞) ～アンパルフェ協奏曲	○器楽 ・クラシックギター奏法の基礎(チューニング・運指・音階・コード等)を学び理解するとともに、フレーズの美しさを味わいながら表現する。【技能】【創意工夫】 ・グループ学習を通して、ともに一つのアンサンブルを作り上げる喜びを味わう。【関心・意欲・態度】【創意工夫】 ○鑑賞 ・ギターの音色と、オーケストラの響き合いの音楽表現の共通性や固有性を理解し、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを知覚し、曲や演奏に対する評価とその根拠をもって聴くことができる。【鑑賞の能力】	各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。	
11					
12					
1		○楽しいリコーダーアンサンブル(器楽・鑑賞) ・C-a-f-f-e-e ・ボレロ ・リコーダーとオーケストラのための協奏曲	○器楽 ・歌うような自然な息づかいによって、自分に合った音色や表現方法を覚悟し、感性を働かせ、音色や強弱を工夫して主体的に表現する。【技能】【創意工夫】 ○鑑賞 ・リコーダーのために書かれた作品を鑑賞し、その音色の美しさを味わいながら、グループ活動を通して、気持ちや呼吸を揃え、アイデアを共有しながら、ともに一つの演奏を作り上げる喜びを味わう。【創意工夫】【鑑賞の能力】	各学習活動、音楽活動の中で、学習プリントを用意し、【関心・意欲・態度】の評価も行う。	
2		(A. ヴィヴァルディ) 他			
3					

2021年度 芸術科シラバス

教科名		芸術		教科書等	116-日文・美I-305
科目名		美術 I	教材等	なし	
単位数		1	履修学年区分	第2学年	
履修区分					
目標		美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。			
評価の観点		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
観点の趣旨		美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察	◎			◎
	作品の提出		◎	◎	
	作品構想カード	◎			◎
	鑑賞カード、小テスト	◎			◎
	観点の重み(%)	40	20	20	20
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		オリエンテーション 鉛筆デッサン(瓶)	立体物に対する光の当たり方や影の付き方に加えて、目線の高さや奥行きなど、透視図法も活用しながら瓶のデッサンをする。		
5		作品鑑賞、コラージュ	現代アートについてルーツや技法、傾向について学び、作品を鑑賞する。全体の構成を考えながら、雑誌を切り抜き素材を集め、遠近感や画面の動きなどに注意しながらコラージュ作品を制作していく。		
6					
7					
9		アニメーションの手法	アニメーション作品の鑑賞を通して、絵が動く仕組みを理解し、様々な方法を知る。またデッサンで学んだ透視図法などが使われている背景やその効果にも注視して、アニメーション作品を鑑賞する。実際にパラパラ漫画を作成し、絵が動く仕組みや見せ方を表現する。		
10					
11		篆刻	石の種類や道具の特性を理解し、独創的なデザインを思考する。また、デザインが実際に使われるときにどう生きてくるのかなどについても考えながら構想を練り、制作する。完成作品を使用し年賀状を書くなどして日常生活における芸術の存在意義を感じ取る。		
12					
1					
2		鳥獣人物戯画 模写	日本古来の美術品や建築物の良さを味わい、対象をよく観察し、模写の手法や当時の思想などにも注視しながら鑑賞、その技法を学ぶ。実際に鳥獣人物戯画を模写し、古典的作品の保存にも触れ実践する。		
3					

2022年度 英語科シラバス

教科名		英語		教科書等	Power On II (東京書籍)	
科目名		English Communication II	教材等	Power On II ワークブック 速読教材		
単位数		4	履修学年区分	2学年		
履修区分		必修科目				
目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。				
評価の観点		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
観点の趣旨		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	
評価方法	言語活動の観察	◎	○	○	○	
	提出物・小テスト	○	○	◎	◎	
	筆記テスト		◎	◎	◎	
	パフォーマンステスト	◎	◎			
	観点の重み(%)	25%	25%	25%	25%	
月	考査	学習内容(単元名)			学習活動とねらい	備考・変更点
4	定期考査 I	Lesson 1 Take a Shot or Not 写真撮影と記憶の関係	・写真を撮ることが記憶に与える影響と写真を撮らずに経験を記憶にとどめておく方法について学ぶ。 ・文法事項: It is (was) + 形容詞(名詞) + that節/関係代名詞what/現在完了進行形			
5		Lesson 2 Ethical Fashion エシカルファッション	・エシカルファッション製品が何に配慮して作られているか学ぶ。また、エシカルになるために重要なことについて学ぶ。 文法項目: 助動詞+受け身+/強調構文/S+V+O(=疑問詞)+to不定詞)			
6	定期考査 II	Lesson 3 Landfill Harmonic リサイクルオーケストラ	・ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子も達にもたらしている影響について学ぶ。 文法項目: 関係副詞where/過去完了形/S+V(=使役動詞)+O+C(=原形不定詞)			
7	定期考査 III	Lesson 4 Icons of Scotland スコットランドの歴史と文化	・スコットランドの地理やキルトに関する歴史を理解するとともに、日本と関連する事柄について学ぶ。			
9		Reading 1 Going Home (家路) Lesson 5 Japan's Secret Health Food 日本の秘密の健康食品	・1960年代アメリカ合衆国、長距離バスで旅する6人の若者たちの物語。登場人物の心情を想像しながら読む。 ・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について学ぶ。 文法項目: 分詞構文(過去分詞)/倍數表現/直前の文の内容を先行詞とするwhich/形式目的語it(=to不定詞)			
10	定期考査 IV	Lesson 6 Vegetable Factories 野菜工場	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について学ぶ。 ・文法項目: 進行形の受け身/ It appears(seems)+that節/未来完了形/譲歩を表す副詞節			
11		Lesson 7 The Power of Color 色が持つ力	・身の回りで使われている色の視覚的効果と心理的効果について学ぶ。 ・文法項目: 同格を表す接続詞that/前置詞+関係代名詞/関係代名詞whoseの制限用法/prpposeなど+that+S+V(=動詞の原形)			
12	定期考査 V	Lesson 8 Miu and Mima. Friendly but Tough Competitors 卓球、みうみまペア	・平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や彼女たちが成功するために大切に考えていることについて学ぶ。 ・文法項目: 付帯状況を表すwith/while(when)(+S+be動詞)/to+have+過去分詞/助動詞+have+過去分詞			
1		Lesson 9 From Owning to Sharing 所有から共有へ	・カーシェアリングの利点と、シェアリングが日本や世界でどのように広がっているかについて学ぶ。 ・文法項目: 強調表現(助動詞による強調)/It is(was) said +that節/形式目的語it(=that節)/過去完了進行形			
2		Lesson 10 Solar Cooking 太陽のエネルギーでクッキング	・ソーラークッカーの仕組みと歴史、メリットと活用例について学ぶ。 ・文法項目: be動詞+to不定詞/wish+仮定法過去/関係副詞whereの非制限用法/関係副詞whenの非制限用法			
3		Reading 2 Fly, Dakota, Fly! 飛べ! ダコタ	・第二次世界大戦の終結から5ヶ月後、新潟県佐渡島に不時着したイギリス軍の輸送機の乗組員と村人たちとの交流を読む。			

2022年度 英語科シラバス

教科名		英語		教科書等	My Way English Expression I・II New Edition
科目名	英語表現Ⅱ	教材等	Breakthrough キーストーン英文法 Listening laboratory standard β		
単位数	3	履修学年区分	2学年		
履修区分	必修科目				
目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。				
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
観点の趣旨	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える。	/	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	
評価方法	言語活動の観察	◎	◎	○	
	提出物・小テスト	○	○	◎	
	筆記テスト		◎	◎	
	パフォーマンステスト	◎	◎		
	観点の重み(%)	25	25	50	
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4	定期考査Ⅰ	Lesson 21(MY WAY I) 仮定法過去／仮定法過去完了 Lesson 22(MY WAY I) その他の仮定表現	仮定法過去／仮定法過去完了、その他の仮定表現について理解を深め、それを使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成、また適切な英文で表現する。		
5		Lesson 23(MY WAY I) 部分否定／準否定語 Lesson 24(MY WAY I) 間接話法と時制の一致 Lesson 25(MY WAY I) 接続詞など	部分否定／準否定、間接話法と時制の一致、様々な接続詞の用法について理解を深め、それを使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成、また適切な英文で表現する。		
6	定期考査Ⅱ	Review Exercises5(MY WAY I) Lesson 1(MAY WAY II) 現在形／現在進行形・未来進行形 Lesson 2(MAY WAY II) 未来完了形／過去完了進行形	様々な時制の用法を理解して、適切な英語を書く。自分や友人の近況、予定などについて適切な英語で表現する。		
7	定期考査Ⅲ	Review Exercise1 Lesson 3(MY WAY II) 助動詞1(義務・必要など) Lesson 4(MY WAY II) 助動詞2(過去の状態・習慣／慣用表現)	様々な助動詞の表現を理解し、適切な英語で表現する。自分や友人の家庭内の決まり事、習慣、旅行の思い出などを適切な英語で表現する。		
9		Lesson 5(MY WAY II) さまざまな受動態の表現 Review Exercise2 Lesson 6(MY WAY II) 自動詞+不定詞／SVO+不定詞	完了形や進行形の受動態など発展的な表現や自動詞+不定詞などの様々な表現を理解し、適切な英語で表現する。 日本の伝統芸能やアニメや漫画などの日本の文化について英語で表現する。		
10	定期考査Ⅳ	Lesson 7 疑問詞+不定詞／完了形の不定詞など Lesson 8 動名詞を用いた様々な表現など	不定詞や動名詞の発展的な表現や様々な慣用表現を理解し、英語で表現する。 自分たちの地元や近隣、国内外の美術に関する話題について適切な英語で表現する。		
11		Lesson 9 不定詞と動名詞／不定詞を用いた表現 Lesson 10 さまざまな分詞構文の表現	不定詞や動名詞の発展的な表現や様々な慣用表現を理解し、日本の伝統的な文化について英語で表現する。 発展的な分詞表現や様々な用法について理解し、英語で表現する。		
12	定期考査Ⅴ	Review Exercise 3 Lesson 11(MY WAY II) 比較に関する様々な表現	比較級や最上級、asなどを用いた様々な慣用的比較表現について理解し、適切な英語で表現する。 国内外の世界遺産について適切な英語で表現する。		
1		Lesson 12(MY WAY II) 関係詞の非制限用法／複合関係詞	関係詞の非制限用法や複合関係詞などの様々な用法について理解し、適切な英語で表現する。 各国の食文化について適切な英語で表現する。		
2		Review Exercise 4 Lesson 13(MY WAY II) 仮定法を用いた様々な表現	ifを用いずに条件を表す仮定法の表現など様々な用法を理解し、適切な英語で表現する。 趣味や嗜好、食生活、整理整頓など、自分や友人の生活習慣などについて適切な英語で表現する。		
3		Lesson 14(MY WAY II) 間接話法／否定表現 Review Exercise 5	間接話法や様々な否定表現を理解し、適切な英語で表現する。 外国語や語学学習などについて適切な英語で表現することができる。		

2022年度 情報科シラバス

教科名		情報		教科書等	最新 社会と情報 新訂版
科目名		社会と情報	教材等		基礎からはじめる 情報リテラシーOffice 2019(実教出版)
単位数		2		履修学年区分	2学年
履修区分		必修科目			
目 標		情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨		情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	制作物・プレゼン	◎	○	◎	○
	定期考査等		◎	○	◎
	観点の重み(%)	10	40	10	40
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい	備考・変更点
4		基礎からはじめる 情報リテラシー		ワープロソフト「ワード」の演習	
5	定期考査Ⅱ	教科書 1章 情報社会と私たち		<ul style="list-style-type: none"> ・情報や知識についての意味を理解する。 ・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解する。 ・情報化の「影」について、高校生に身近な事例で理解する。 ・情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について理解する。 ・情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 ・各表現メディアの特性について理解する。 ・マスメディアやインターネット等、情報メディアの特性を理解する。 ・記録メディア、通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 ・情報の信憑性、信頼性について理解する。 ・メディアリテラシーの意味を理解する。 ・CMなどメディアから受け取る情報を分析して発信者の意図を理解する。 ・情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。 ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・個人情報の漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 ・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて学ぶ。 ・有害サイト、チェーンメール等、特に携帯電話利用の注意点を理解する。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。 ・著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身に付ける。 	
6					
7		基礎からはじめる 情報リテラシー		ワープロソフト「ワード」の演習	
9		基礎からはじめる 情報リテラシー		ワープロソフト「ワード」の演習	
10	定期考査Ⅳ	教科書 2章 情報機器とデジタル表現		<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の種類と特徴、インターフェースについて学ぶ。 ・デジタルカメラの原理や画像・映像の処理について学ぶ。 ・アナログとデジタルの意味について理解する。 ・デジタル化のメリットについて理解する。 ・情報を2進数で表現することについて理解する。 ・情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数・10進数・16進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のデジタル表現について理解する。 ・音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や、標本化定理について理解する。 ・デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 ・画像のデジタル化の仕組みと、解像度と階調と画質の関係を理解する。 ・図形のデジタル表現について理解する。 ・動画と立体のデジタル表現について学ぶ。 	
11					
12		基礎からはじめる 情報リテラシー		表計算ソフト「エクセル」の演習	

1	定期 考 査 V	教科書 4章 コミュニケーションとネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩によるメディアの発達の歴史について理解する。 ・メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 ・発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・電子メールやメッセージアプリなどを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 ・回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 ・パケット交換方式の長所と短所について理解する。 ・コミュニケーションを行う時のプロトコルについて学ぶ。 ・TCP/IPについて理解する。 ・クライアントサーバシステムについて学ぶ。 ・IPアドレスやドメインについて学び、実習でIPアドレスを確かめる。 ・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。 		
2				<ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・地図情報、動画配信サービス等のインターネットサービスについて学ぶ。 ・転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようにする。 ・情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。 ・デジタル情報の圧縮について理解する。 ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解する。 ・情報の暗号方式(共通鍵方式と公開鍵方式)について理解する。 ・デジタル署名、電子透かし、アクセス制御などセキュリティ技術の方法について理解する。 ・情報のフィルタリングについて理解する。 ・企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。 	
3			基礎からはじめる 情報リテラシー	プレゼンテーションソフト「パワーポイント」の演習	